

茨城新聞

11/1
[日曜日]

茨城新聞社

「感謝」じゃ済まない

ゆたかや・中山忠男社長(51)



営業再開へ内装を点検する中山忠男社長＝常総市本石下

「何が悔しいって、手に
なじんだ道具が全て奪われ
ちまったこと」

へら、せいろなど「石下
名物」の団子を作り出すの
に欠かせない愛用の数々。
失ってあらためて大切さを
痛感した。

あの日、朝7時に本店常
総市本石下)にいた。店先
の堀から、いきなり水がド
ンと噴き上がるのを目撃、
避難した。

翌朝、水が引いた店内を
見て絶句。「再開は無理」
と思った。

絶望の中、復活を求める

声が相次いだ。「もはや費
用の問題は関係なかった。
待ってくれる人にできない
とは言えない。ただそれだ

再起
常総の経営者

けだった」

思い切って機器も内装も
新調。本店再開をとにかく

11月1日と決めた。間に合

うかどうか分からなかった
が、立ち止まったら終わり
と感じた。

かつて県商工会青年部連
合会長を務めた。県内全域
から後輩たちが駆け付け、
復旧に協力。お客の激励と
ともに「大丈夫だろうか、
というマイナス思考を取り
除いてくれた」

人の面倒を見るのは当た
り前。でも、人に面倒は掛
けたくない。そう思って
生きてきた。だが、今回多
くの支えが無ければ、再開
の二文字は見えてこなかっ
た。

「お客さんや仲間への思
いは、単なる『感謝』じゃ
済まない。もっと、ずっと
ずっと上にある何か...」。
今はその言葉探しのの中に
いる。

(松田拓朗)
(随時掲載)

2015年11月1日(日)

茨城新聞掲載

ゆたかや 中山忠男様 「11月1日営業再開」

寄付 七井新聞店